

## 環境モデル都市の進捗状況について

### 1. 北九州スマートコミュニティ創造事業

昨年4月に国の「次世代エネルギー・社会システム実証」に全国4か所の一つとして選定された。今年度は、地域節電所やスマートメーターなどの施設整備を行い、平成24年度から本格的実証を開始する。

- ・事業場所：八幡東区東田地区（約120ha）
- ・事業期間：平成22年～平成26年までの5年間。

### 2. 水素タウンプロジェクト【H23.1.15】

今年1月に世界的にも例がない、市街地を經由する一般家庭への水素パイプライン供給と本格的なコミュニティ規模での純水素燃料電池の運転実証を行うプロジェクトの運用を開始した。また、5月には国内初の燃料電池スクーターの実証走行を開始した。

### 3. 紫川エコリバー構想

今年3月に、太陽光発電や屋上緑化など街のエコスポットの説明・地図等を掲載した「小倉都心部エコスポットマップ」を作成した。エコスポットのPRプレートも作成しており、プレートとマップを活用して「エコな街」北九州を広くPRする。また、今年4月には、勝山公園内にエコ技術を取り入れた「グリーンエコハウス」がオープンした。

### 4. 北九州環境みらい学習システム

昨年度に検討会を3回（7月、8月、10月）開催し、12月に意見の取りまとめを行った。今年度は、取りまとめられた意見を基に、モデルツアーの実施、環境関係施設の情報（イベント含む）等のデータベース化、観光案内所を活用した環境情報の発信、システムを支える人材の育成に着手する。

### 5. 低炭素都市づくり・ベストプラクティス受賞【H23.2.11】

「北九州スマートコミュニティ創造事業」と「北九州エコプレミアム産業創造事業」の2件が、地域における低炭素都市づくりの先進的な事例として特別賞を受賞した。

### 6. アジア低炭素化センター

㈱安川電機が、中国における「工場への高効率モータシステム」の事業調査に関し、「平成22年度地球温暖化対策技術普及等推進事業（経産省）」に係る委託先として採択された（H22.10）。日本磁力選鉱㈱が、「インドにおける電気電子機器廃棄物のリサイクル事業に関する実施可能性調査（経産省）」に係る委託先として採択された（H23.3）。㈱エコマテリアルが、中国・天津市における廃プラスチックの材料リサイクル事業の事業性調査に関し、「静脈産業の海外展開促進のための実現可能性等支援事業（環境省）」に採択された（H23.6）。

### 7. 北九州市節電推進本部

今年6月に市長を本部長とする北九州市節電推進本部を設置。市役所では、照明・エレベータ・給湯器の間引きやノー残業マンズなどを実施。事業者向けに省エネ・節電セミナーの開催、市民向けに省エネチェックシートの全戸配布を予定するなど、市を挙げた取組みを展開する。

### 8. 住宅用太陽光補助事業当初予算増額

平成22年度は当初予算で5千万円680件の採択を予定していたが、既決予算内で増額し、申請のあった1,374件を全件採択した。平成23年度は当初予算で1億500万円に増額し1,400件程度の採択を予定している。